

緊急的化学物質対策推進経費

1, 050百万円（5百万円）

<要望枠>

環境保健部環境安全課

1. 事業の概要

「2020年までに化学物質の製造・使用に伴う人及び環境への著しい悪影響を最小化する」とのWSSD※2020年目標の達成に向けて、国民の健康と環境を守ることに直結する、以下の取組を緊急的に実施することが喫緊の課題。（※持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグサミット））

- 本年度施行の改正化学物質審査規制法（化審法）に基づくリスク評価に必要なデータ収集及び解析手法の高度化（ばく露評価及びリスク評価）
- 化学物質の製造・使用から環境への排出・廃棄までのライフサイクルの各段階でリスクを削減するための対策技術等の開発・普及（リスク管理）

2. 事業計画

（1）ばく露評価に係る事業

- （新）化学物質審査規制法の優先評価化学物質に係る環境調査事業

300百万円（0）

- ・ 化審法に基づき、本年度より一般化学物質をスクリーニング評価（簡易なリスク評価）し、「優先評価化学物質」として絞り込んだ上で、より詳しいリスク評価を実施することとしているが、本事業では、当該リスク評価にあたって、環境中での実測データが必要となった優先評価化学物質について、環境調査等を実施する。

- （新）化学物質の人へのばく露量モニタリング調査事業

300百万円（0）

- ・ 環境から人体に取り込まれて健康に影響を及ぼす可能性がある化学物質について、成人における生体試料（血液、尿）を分析し、人への曝露状況を継続的に把握するためのモニタリングを行うことにより、環境リスク評価、リスク管理のための基礎情報を得る。

- （新）化学物質の人の体内や環境中の挙動の解析手法の高度化事業

20百万円（0）

- ・ 化審法では高蓄積性でないと判定されているがPOPs（残留性有機汚染物質）条約では高蓄積性と判定された物質等について、人の体内や環境中のモニタリングデータ等から環境中で実際に生じている挙動を解

析する手法について検討を行う。

(2) リスク評価に係る事業

○化学物質の複合影響に関する評価等調査事業 100百万円(5百万円)

- ・ 近年、欧州連合(EU)、米国環境保護庁(USEPA)、世界保健機関(WHO)等において課題の整理や評価方法の検討作業が本格化するなどしている化学物質の「複合影響」について、これら国際動向を踏まえつつ、評価方法の開発、評価の実施等の各種取組を実施する。

(3) リスク管理に係る事業

○(新)有害化学物質含有製品の代替及び選別等の加速化検討事業

30百万円(0)

- ・ 化審法の第一種特定化学物質となっている有機フッ素化合物(PFOS及びその塩)、臭素系難燃剤(PBDE)等の含有製品について使用実績や市中在庫調査、適正な取扱い方法や処理方法の検討、必要な情報の周知を行い、その後簡易な選別手法の調査研究、現行法令の改善に向けた検討を行う。

○(新)化学物質のライフサイクルでのリスク削減のための対策技術等の開発・普及支援事業 300百万円(0)

- ・ 化学物質の製造・使用から製品に組み込まれたものも含め、環境への排出・廃棄までのライフサイクルの各段階におけるリスクを削減するための対策技術等の開発を行い、技術導入を促進するための実現可能性調査の実施、普及方策の検討、実証研究を実施する。

3. 施策の効果

国民の健康と環境を守る視点に立って、化学物質のばく露評価及びリスク評価を実施するとともに、化学物質の製造から廃棄までのライフサイクルの各段階でのリスクを削減することにより、WSSD2020年目標の達成に資する。

緊急的化学物質対策推進経費

概要

[要望額: 1,050百万円(5百万円)]

WSSD2020年目標

「2020年までに化学物質の製造・使用に伴う人及び環境への著しい悪影響を最小化する」

目標達成に向けて、国民の健康と環境を守る視点に立って、化学物質の製造から廃棄までのライフサイクルの各段階でのリスク削減に取り組む。

本年度施行の改正化学物質審査規制法に基づくリスク評価に必要なデータ収集及び解析手法の高度化
(ばく露評価及びリスク評価)

化学物質の製造・使用から環境への排出・廃棄までのライフサイクルの各段階でリスクを削減するための
対策技術等の開発・普及 (リスク管理)

事業計画

(1) ばく露評価に係る事業

- (新) 化学物質審査規制法の優先評価化学物質に係る環境調査
- (新) 化学物質の人へのばく露量モニタリング調査事業
- (新) 化学物質の人の体内や環境中の挙動の解析手法の高度化

(2) リスク評価に係る事業

化学物質の複合影響に関する評価等調査

(3) リスク管理に係る事業

- (新) 有害化学物質含有製品の代替及び選別等の加速化検討
- (新) 化学物質のライフサイクルでのリスク削減のための対策技術等の開発・普及支援事業